

地球はプラごみだらけ 海も、大地も、大気も、そして人も

3Rで減らそう！ プラスチックごみ

Reduce 減らす

Reuse 再利用

Recycle 再生利用

プラスチックは限りなく小さくなって、体内を巡り、添加物は蓄積していきます。



未来は？どうなる？

ニューヨーク大学の研究チームは、6人の乳児の糞便に、成人の糞便に含まれる量の10倍量のポリエチレンテレフタレート（PET）を発見しました。また、3人の新生児の胎便にも、少量ながら含まれていたことから、誕生の時点ですでに新生児の消化管内にはプラスチック粒子が存在することが示唆されています。

プラスチックに含まれる添加剤の中に、内分泌攪乱物質と呼ばれる化学物質の一群があり、これらは生体内のホルモンを攪乱し、生殖・神経・代謝に悪影響を及ぼします。

子ども達の健康を守るためには、プラスチックごみの発生を抑制し、環境への流出の防止を急がなくてはなりません。3Rでプラスチックごみを減らす運動を世界中に広め、持続可能な地球環境を作りましょう。

ごみゼロフォーラム実行委員会